

反応型けい酸塩系表面含浸材の下地改質工への適用性

反応型けい酸塩系表面含浸材と塗装材の付着強さ試験

1. 試験概要

反応型けい酸塩系表面含浸材が、塗装材の付着性を阻害しないことを、反応型けい酸塩系表面含浸材塗布後、塗装材を施工した試験体での付着強さ試験により確認した。

2. 試験体

基板

モルタル基板 普通ポルドランドセメント使用

配合：水セメント比 (W/C) = 50 %

寸法：角柱 100×100×400 mm

表面含浸材

反応型けい酸ナトリウム系表面含浸材：L-OSMO 反応型 XP (標準塗布量 400 g/m²)



塗装材

アクリル樹脂系塗装材

アクリル樹脂系塗装材 (複層)

ウレタン樹脂系塗装材

3. 試験方法

基板に【L-OSMO 反応型 XP】を標準量塗布し、養生後塗装材を施工し、養生後引張試験機を用いて付着強さ試験を行った。

4. 試験結果

試験結果（接着強さ、破断箇所）を表1～3に示す。

表1 付着強さ試験結果 アクリル樹脂系塗装材

品名		接着強さ (N/mm ²)	破断箇所
アクリル樹脂系塗装材	無塗布	2.9	基板破壊
	反応型 XP	2.9	塗布材内の凝集破壊

表2 付着強さ試験結果 アクリル樹脂系塗装材（複層）

品名		接着強さ (N/mm ²)	破断箇所
アクリル樹脂系塗装材 （複層）	無塗布	1.8	塗布材内の凝集破壊
	反応型 XP	1.6	塗布材内の凝集破壊

表3 付着強さ試験結果 ウレタン樹脂系塗装材

品名		接着強さ (N/mm ²)	破断箇所
ウレタン樹脂系塗装材	無塗布	3.0	基板破壊
	反応型 XP	3.0	基板破壊

反応型けい酸塩系表面含浸材【L-OSMO 反応型 XP】の無塗布・塗布で接着強さに大きな差異は見られなかった。

反応型けい酸塩系表面含浸材が、塗装材の付着性を阻害することは確認されなかった。

※含浸しきらず表面に残存した薬剤の洗浄は必要です。

※本試験結果をもって全ての表面被覆材と【L-OSMO】シリーズの付着性を保証するものではありません。施工の際は、サンプルをご提供しますので相性確認をお願いします。

以上